

## マーケットの動き（2024年4月8日～4月12日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。

10日発表の米国CPI（消費者物価指数）の上振れを受け、米国金利が上昇したことから米ドルは153円台前半まで上昇し、1990年6月以来、約34年ぶりの円安・米ドル高水準を付けました。週末には中東情勢の緊迫化などを背景にリスク回避の円買いが入りました。

ユーロは前週末比、対円・対米ドルともに下落しました。

## 投資環境見通し（2024年4月）

## 円に対して米ドルは強含み、ユーロはレンジ内での動き

**米ドル：**米国ではインフレ再燃に対する警戒感から金利が高止まる一方、日銀はゼロ金利政策を解除しつつも緩和的な金融環境を継続するとみられる中、資本フローの面においてもドルが優位と考えられることから、ドルは円に対して強含むとみています。ただし、日銀の追加利上げや日本政府・日銀によるドル売り円買い為替介入に対する警戒感が広がる場面では、変動率が高まるとみています。

**ユーロ：**ECB（欧州中央銀行）が利下げサイクルに入り、日銀が追加利上げに踏み切るには相当の時間が必要とみられることから、当面は金利差に大きな変化はなくユーロは円に対して概ねレンジ内で推移するとみています。

	4月12日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	152.95	1.39	5.26	3.21	19.66
ユーロ/円	162.59	▲1.36	1.34	4.54	16.27

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202404\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202404_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 為替レートの推移（対日本円）



## 為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成